

# J-POWER “BLUE MISSION 2050”

カーボンニュートラルと水素社会の実現に向けた取り組み



WELCOME

# J-POWER “BLUE MISSION 2050”

私たちは不断のエネルギー提供と持続可能な社会の実現に向けて  
これまで培ってきた経験と技術力をもとにエネルギーの脱炭素化に取り組むとともに  
最新技術の導入や新たな事業領域への挑戦など創意工夫を重ねグローバルに成長を続けてまいります。



J-POWERの目指す2050年の姿

## カーボンニュートラルと水素社会の実現

- ・ J-POWERは人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献することをミッションとし、これまで水力、火力、風力、地熱による発電および送変電事業\*に取り組んできました。  
ミッション達成のために、これまで当社が長年培った総合的な技術力とバランスの取れたポートフォリオをさらに発展させ、多方面からアプローチしていきます。
- ・ 2050年に向けては発電事業のカーボンニュートラルの実現に段階的に挑んでいきます。  
そのマイルストーンとして、2030年のCO<sub>2</sub>排出量を40%削減します。
- ・ そのためには、再生可能エネルギー等のCO<sub>2</sub>フリー電源の拡大や、日本の電力ネットワーク増強への貢献\*に加えて、石炭火力発電を着実にCO<sub>2</sub>フリー水素による発電に置換していく必要があります。また、その際には水素発電だけではなく、鉄鋼・化学等の他産業での水素利用に貢献することによる事業領域拡大の可能性も追求していきます。

\* 送電事業者の中立性確保の観点から、送変電事業は2020年4月1日に会社分割により設立された100%子会社である「電源開発送変電ネットワーク株式会社（以下「J-POWER送変電」）」が担っています

※J-POWER “BLUE MISSION 2050”は、これまでJ-POWERが培った発電技術のさらなる発展と経済合理性によるサステナブル経営の姿、政府が示す「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」との整合性に基づいています。

※本資料で“J-POWER”とはJ-POWERグループを指します